



## コマックスグループにおける行動規範

私たちの信念 — 私たちの行動

# コマックスグループにおける行動規範

私たちの信念 — 私たちの行動

## はじめに

コマックスグループ経営陣は2006年企業のバリュー、目標、経営戦略を明記した新たな企業理念を発表した。役員及び全従業員が業務を行う際の法的、倫理的な標準をより詳しく示すことで、社内での管理システムの基準として、既存の企業理念を補う目的で制作されたものである。

行動規範は役員及び従業員に、義務責任を伴う約束(コミットメント)を課し、実行すべき行動パターンを奨励したり、その逆に好ましくない行動を控えさせたりする役割がある。誠実な行動を義務付ける指針ともなる。そして誰もがその責任を認識し、それに応じた行動を取ることを前提とする。我々のビジネス・パートナー、取引先、株主、公共社会や関係当局からコマックス従業員が信頼される事が会社の成功に大きく関係する。管理職者はここによりき模範となるべきで、倫理的且つ社会的能力を率先して発揮する事が期待される。この行動規範は全世界のコマックスグループ会社に適用されるものである。

管理職者は行動規範の実践に関して責任を持ち、従業員が規則を学び、その行動規範に沿って仕事に従事することを指導する。仮に行動規範に反する行動があった場合は、その従業員が何故そうした行動をしたのか考え、話し合う時間を与えなければならない。管理職者は、行動規範の実践状況に責任を負い、行動規範定着のために行った活動とその成果について定期的に報告を行わなければならない。従業員教育の中心を成すものが行動規範である。

## 1. 倫理規範

以下の倫理規範は、コマックスグループの役員及び従業員共通の価値観である。

法律を守ること – 関係する国の法律を遵守し、文化的背景を考慮して行動すること。

コマックスに忠誠を誓い、ステークホルダー(企業活動に関係するすべての人々や団体など)の皆様に対しても良心的に行動する。

また、職場では同僚に対して公正且つ礼儀正しく敬意を持って接する。

性別、人種、宗教などの理由で差別を行わない。

リスクに対しては責任感を持って、透明で健全な行動を行う。

外部との取引関係においては専門職業意識、公正さを軸に確実で信頼の置ける関係を築く。

## 2. 利益相反管理についての指針

すべてのコマックス従業員は毎日の職業生活の中において、会社の利益と個人の利益が相反する場合においては個人の利益よりも会社の利益を優先することを要求される。雇用に際しては、労働者の雇用に直接関連する範囲内において、副業や、他の取締役会の会員資格に加え、個人情報(すなわち家族、親戚関係、友人関係または金融取引状態など)もオープンに記載する義務が課される場合がある。

## 3. 守秘義務と営業秘密

営業秘密は当事者内にとどめ、慎重に管理する。機密情報は社内においても社外においても第三者に譲渡しない。またコマックスを退社、退職後もこの規則を遵守する。

コンピューターなどの電子機器に保存してある情報にはパスワードを設置し、且つパスワードを定期的に差し替えるなどして情報を適正に管理する。

すべての従業員がインサイダー取引規制条約を遵守し、いかなる内部情報も漏洩してはならない。機密情報を自社及び他社の証券取引のために使用しない。またそれらの内部情報を社内、社外の第三者に伝えてはならない。

## 4. 資産と財政の整合性

従業員は会計や決算書など、企業の正確な概要を知っていなければならない。

また労働時間、企業の財産、営業秘密などの企業資産を悪用、浪費してはならない。

## 5. 贈収賄と汚職について

コマックスは、品質と性能に優れ、顧客のニーズや特性に合った商品開発と製作、及びそれらに付随するサービスを提供する。

商品発注の過程での、個人の利益となる贈与、提案、申し出などを一切受け入れてはならない。コマックスは、いかなる贈収賄も禁止するものである。

贈呈品や土産のやりとりは、文化的背景や慣習を考慮して行う。金銭贈与、金銭授受はいかなる状況、いかなる契約においても許されない。贈呈品や接待は常識的な限度を超えない範囲で行う。また、贈与されることで約束や義務が生じ得ると判断した場合は、その提案を礼儀正しく且つ毅然に断らなければならない。贈呈品の受け取りに疑問を感じた時は、社内監査に報告し判断を仰ぐ。直接的な贈収賄の試みに対しても同様に行動することが求められる。



ビジネス・パートナーとの贈呈品や接待の規則をここに明記する。

贈呈品はオープンに、可能であれば公の場でやり取りすることが望ましい。

贈呈品や接待は、ビジネスパートナー側の規則に触れるものであってはならない。

癒着の誤解を与えるような贈呈、接待は避け、発注や調達活動などの商取引中の時期と内容に関係があってはならない。

ビジネスパートナーが当社の贈呈品や招待を断った場合は、その意を理解して受け入れる。

## 6. 差別について

上司として、同僚として、そして従業員として思慮深く公平であり、互いに感謝と敬意の意を持って接しあう。民族、肌の色、国籍、出身国やルーツ、性別、信仰や世界観、政治的見解、年齢、体格や体質、性的指向や容姿などによって差別を行わない。

全ての従業員が、互いの個人領域を尊重して行動する。セクシャルハラスメント(性的いやがらせ)は禁止されている。

## 7. 寄付と後援について

コマックスは、政党、政治団体または政治的な職業に付く個人への寄付を一切行わない。それに対し、文化的事業への支援は企業の伝統として重点を置いて行ってきた。これは社会福祉や環境保全の分野で活躍する非政治的な団体に金銭や物資の支援を適切な範囲で行うものである。

## 8. 健康と安全性

全てのコマックスの企業は及び従業員のは

職場での安全と健康を守る責任がある。

法律規則と安全基準は、遵守しなければならない。また従業員が遭いやすい危険などを率先して考慮し、危険回避に積極的に関わっていく姿勢が求められる。安全基準が守られていないケースや、事故が起こり得ると想定される場合は直ちに上司に報告をして、問題点を解決しなければならない。

## 9. 環境保護について

コマックスは環境保護の観点から、環境にやさしい方法で製造を行う。また再生可能な太陽光エネルギーや水力発電などのエネルギーを使用する。コマックスは、様々な方法で二酸化炭素排出を制限し、法定基準を守るのみならず、より少ない二酸化炭素排出量を達成するための自主的な取り組みを行っている。コマックスは持続的な長期成長を目標とし、環境を破壊しながら利益を追求することを拒否するものである。

## 10. 行動規範の違反について

コマックスグループのいかなる組織内においても、行動規範の違反を認めない。個人の利益のための違反はもちろん、会社の利益と偽った短絡的な違反行為も、非合法で倫理観に欠けた、正当性のない行動とみなされる。違反行為が見つかった場合は、直ちに会社の人事部に報告しなければならない。そこで懲戒処分などの決定がなされるが、会社が多大な被害を被った場合には損害賠償などの法的処置が取られる。

全ての従業員に行動規範が配布されるが、イントラネット(企業内ネットワーク)でも同じものを閲覧することができる。

行動規範は実践可能で適切な内容であるか、表現、内容などが完全であるかなど、定期的な見直しと検討がなされている。

この行動規範について質問や意見がある場合は「codeofconduct@ssrlaw.ch」に連絡する。また、上司や人事部に報告できない行動規範違反の情報報告などの際にも、中立な外部機関であるこの組織に通報すること。



**komax**